

2018
12

長崎県の“土木”のいまがわかります NO. 36

DOVOC 通信 ながさき

特集
1

平成三十年度 長崎県優秀工事知事
表彰の受賞工事をご紹介します

特集
2

長崎県の空港
を知ろう

「明治維新150年 長崎県土木の近代化への始動
第2回 疫病との戦い(衛生工学の確立)」

DOVOC インフォメーション



特集 1

平成三十年度

長崎県優秀工事知事表彰の受賞工事を紹介します

県では、平成15年度より、他の模範となる優れた工事を知事表彰しています。今年度は、次の21工事が選出されました。



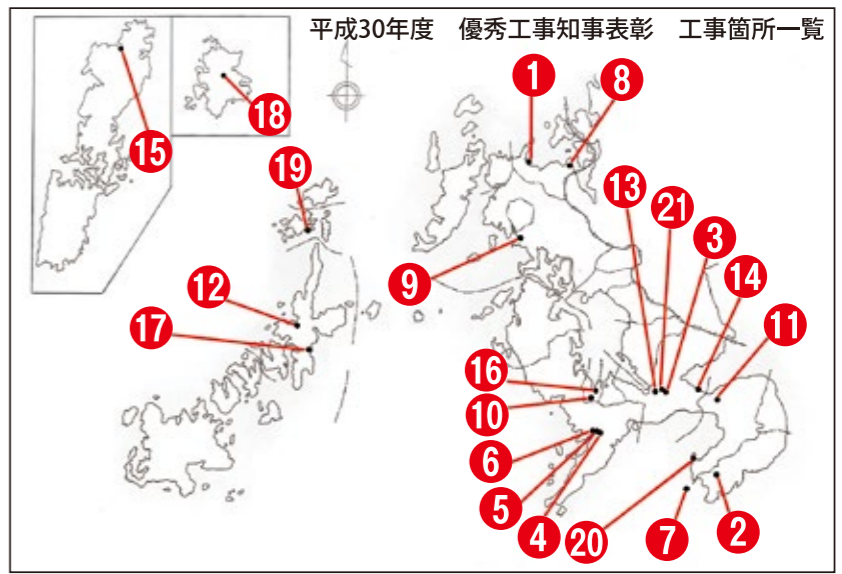
工事名	調川港港整備交付金工事
施工者/技術者	(株)大島造船所長崎営業所/小川 望
工事内容	漁港に設置する浮桟橋を製作する工事です。



受賞者(代表者)



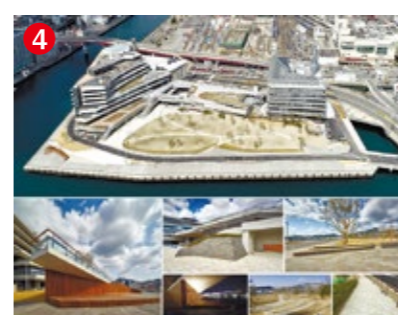
受賞者(技術者)



工事名	空池原地区区画整理事工(16工区)
施工者/技術者	中島建設(株)/松田 康資
工事内容	畑の区画や道路等を整備する工事です。



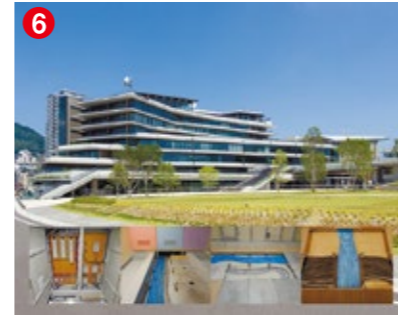
工事名	一般県道諫早外環状線道路改良工事(函渠工)
施工者/技術者	(株)豊恒/川野 雄輔
工事内容	バイパス道路の函渠工を新設する工事です。



工事名	長崎地区漁港環境整備工事
施工者/技術者	武藤・西海特定建設工事共同企業体/竹尾 浩暢
工事内容	県庁舎に隣接する防災緑地を整備する工事です。



工事名	長崎県警察本部庁舎衛生設備工事
施工者/技術者	旭管・長与管工特定建設工事共同企業体/高見 竜一郎
工事内容	県警本部庁舎建設に伴う管工事です。



工事名	長崎県庁舎行政棟電気工事(通信・情報)
施工者/技術者	大菱・みずほ・イナツマ 特定建設工事共同企業体/吉永 邦彦
工事内容	県庁舎建設に伴う電気通信工事です。



工事名	長崎南地区大型魚礁整備工事(島原半島南西工区)
施工者/技術者	(株)三基/松藤 浩史
工事内容	豊かな漁場を整備する工事です。



工事名	福島地区白石ため池整備工事(その2)
施工者/技術者	鷹鳥建設(株)/坂本 武彦
工事内容	老朽化したため池を改修する工事です。



工事名	日野川河川改修工事(3工区)
施工者/技術者	(株)トモダ/鯛谷 英史
工事内容	災害に強い河川護岸を整備する工事です。



工事名	時津川河川改修工事(長坂橋下部工)
施工者/技術者	(株)別所組/山口 恒明
工事内容	河川改修における橋台を新設する工事です。



工事名	一般国道251号道路改良工事(土工3工区)
施工者/技術者	星野建設(株)/石山 芳彦
工事内容	自動車専用道路を新設する工事です。



工事名	一般国道384号道路改良工事(跡次2工区)
施工者/技術者	豊建設(株)/築地 直樹
工事内容	バイパス道路を新設する工事です。



工事名	一般県道諫早外環状線道路改良工事(諫早IC橋PN2・PF2)
施工者/技術者	吉川建設(株)/山本 徳秋
工事内容	バイパス道路の橋脚を新設する工事です。



工事名	田尻地区4号支線用排水路工事(その1)
施工者/技術者	(株)荒木組/針尾 和見
工事内容	農地の排水改良のための排水路整備工事です。



工事名	一般国道382号道路改良工事(舗装工)
施工者/技術者	(株)小宮建設/小宮 隆宏
工事内容	バイパス道路の舗装工事です。



工事名	盲学校新実習棟新築工事
施工者/技術者	上滝・本間建設特定建設工事共同企業体/中道 剛
工事内容	盲学校の実習棟建設工事です。



工事名	真浦川(イ)通常砂防工事
施工者/技術者	(株)浜田組/青山 誠司
工事内容	土石流を防止するための砂防堰堤整備工事です。



工事名	一般県道湯ノ本芦辺線道路改良工事(4)
施工者/技術者	(株)宮坂組/末永 博
工事内容	道路の見通しを良くする工事です。



工事名	小値賀地区水産生産基盤整備工事(小値賀漁港3工区)
施工者/技術者	大坪建設(株)県北営業所/山村 光輝
工事内容	地震に強い漁港を整備する工事です。



工事名	中ノ場(3)地区急傾斜地崩壊対策工事
施工者/技術者	(株)野田組/野田 大輔
工事内容	急傾斜の土砂崩壊を防止する工事です。



工事名	一般県道諫早外環状線道路改良工事(盛土工10)
施工者/技術者	増崎建設(株)/山下 亨
工事内容	バイパス道路の盛土工事です。

長崎水道 第1回 拡張事業



本河内低部堰堤



一ノ瀬隧道(本河内低部ダムから鳴滝へ349m、本河内低部ダム側坑門)



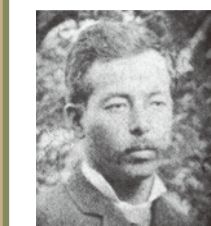
本河内低部ダム
(疎石コンクリート造重カダム、高さ22.71m、長さ115.15m)※

西山ダム
(疎石コンクリート造重カダム、高さ31.82m、長さ139.39m)※



西山高部水道施設(3面の濾過池と円形の配水池)

(※の写真は長崎水道局所蔵)



吉村長策(よしむら・ちようさく)※ 万延元年(1860)3月18日~昭和2年(1927)11月21日大阪府に生まれる。明治18年(1885)、工部大学校土木科卒業。明治19年(1886)、水道工事計画のため長崎県技師に招聘、明治24年(1891)日本人としてわが国最初の上水道専用ダムを完成、明治32年(1899)日本で最初のコンクリートダム神戸市水道、布引ダムを完成させた。創成期のわが国の水道工事に尽くした。明治32年、海軍に移り佐世保鎮守府建設部建築科長となり、佐世保海軍工廠における鉄筋コンクリート技術の発展に尽くした。明治44年(1911)、海軍本省に転じ、臨時海軍建設部工務監、大正2年(1913)、海軍省建築局長に就任し、大正5年(1916)に辞す。吉村長策は、佐世保湾を見渡せる西方寺の高台に眠っている。

水道施設(本河内低部ダムの原水は一ノ瀬隧道と城ノ越(古址)により、西山低部施設で浄水する。西山ダムの原水は西山高部施設で浄水する。ネットワーク化した最先端の水道施設。)

下水道の整備と創設長崎市水道

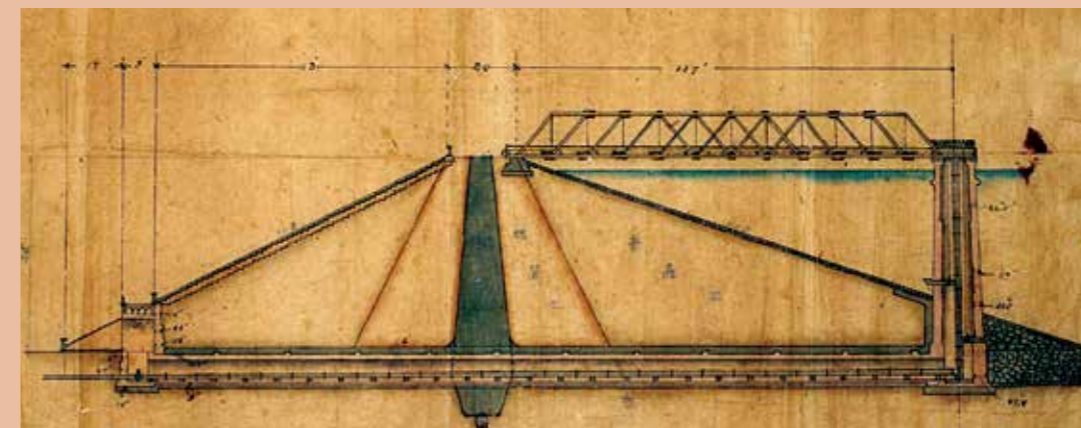


幹線下水路(大溝)6線を示した地図。その延長は4.2Kmである。第1線(ししとき川下水路)は今博多町を起点とし、築町を経て、出島橋の近くで中島川に合流する。



当時造られた下水路(ししとき川下水路と地獄川下水路、3面石張りで、天川で汚水漏れを防止している)

明治18年(1885)のコレラの大流行を受けて、当時の長崎県令日下義雄は、長崎区内の下水溝の改修を指示した。そこで、明治19年(1886)より、まず、長崎区内の大溝を改修し、さらに明治20年(1887)には中溝および小溝を改修した。その総延長は75Km余りであり、その総工費は約7万6,000円であった。長崎区中心部には下水溝が敷設されたが、日本で最初の市街地全域にわたる下水道敷設であった。



ダム断面図(形式:アースダム(土堰堤)、高さ18.15m、長さ127.27m)。堰堤の構造はダムの中心に止水のための粘土の隔壁を置き、精選土と普通土で締め固め、貯水池側の面は石張りとした。*

創設長崎水道(本河内高部水道施設)は、明治18年(1885)のコレラの全国への流行により、知事日下義雄、長崎区長(市長)金井俊行が計画し、吉村長策が設計・監督を行った。建設費約30万円は当時長崎区(市)の年間予算4万円の7.5倍に達する金額で、市を二分する紛争に発展した。水道施設は明治22年(1889)4月着工、明治24年(1891)3月に完成した。給水人口6万人、給水範囲は、長崎市中心部から外国人居留地まで。日本人が建設した日本で最初の水道施設であり、またダム形式の水道施設としては日本で最初のものである。コレラを克服するための都市衛生の最先端の技術であった。



堰堤と濾過池(完成直後のダムと濾過池(後に新施設に更新)※



配水池(濾過した水を蓄積する半地下構造の配水池、現在でも使用)※

第2回

疫病との戦い (衛生工学の確立)

安政5年(1858)長崎が開港し、東南アジア・中国南部を経由する外国船が長崎に寄港するようになると、熱帯地方の風土病であったコレラや赤痢などの疫病が長崎に上陸し、全国に爆発的に広がる事態が発生するようになった。明治19年(1886)のコレラ大流行では、全国の死者は108,405人に達した。長崎区(市)では、明治18年(1885)のコレラの患者は833人(内死者617人)、死亡率は実に約75%に達した。明治初期には伝染病の撲滅は、すなわち生命を守ることが分かっていった。そこで、疫病から命を守るためには、下水道と水道施設の完備が必須条件であった。下水道と水道を整備すること(都市衛生の確立)は、疫病から市民の命を守る戦いであった。

長崎県が管理する離島の空港

九州の西端に位置し、五島列島、対馬、壱岐の大型離島を有する長崎県にとって、航空路線は県内外を結ぶ重要な交通手段であり、離島の空港はその拠点となっています。

また、島民の利便性向上、交流人口の拡大、県産品の流通促進など地域振興における重要な施設でもあります。離島の空港には、ボンバルディアDHC8-Q400、ボンバルディアDHC-8-201が就航しています。10月末まではボーイング737-500も対馬空港に就航していました。長崎県では、安全な運航が行われるよう、県管理空港の維持管理工事を行っています。

対馬空港 (愛称: 対馬やまねこ空港)



対馬空港では、平成25年から滑走路舗装改良工事と照明施設更新工事を行っており、平成32年度に完了予定です。



舗装改良工事施工状況

壱岐空港



壱岐空港では、5月から新しい気象観測装置の設置工事が行われています。観測されたデータは天気予報にも使われています。



気象観測装置

小値賀空港



上五島空港、小値賀空港は、平成18年に定期便は休止されましたが、急患搬送や医師搬送のヘリコプター発着に利用されており、離島医療に貢献しています。



医師搬送のヘリコプター

上五島空港



上五島空港では、10月に新上五島町主催の星空観測会が行われ、70人の一般参加者が集まりました。



星空観測会の夜空

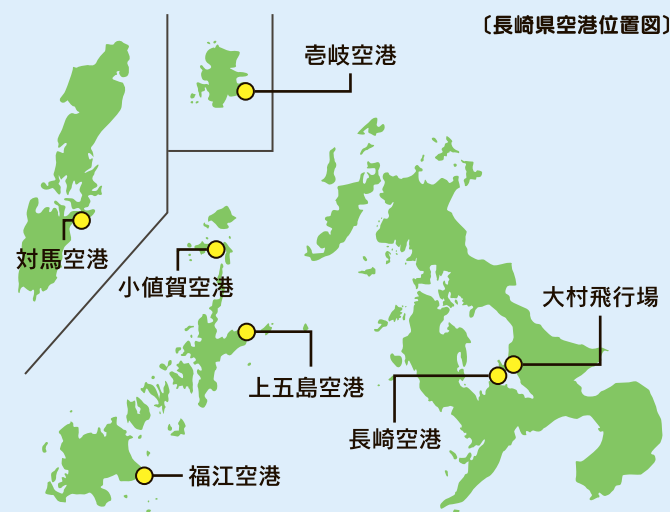
福江空港 (愛称: 五島つばき空港)



福江空港では、静岡空港や小牧空港などからの観光ツアーのチャーター便の利用が年間20回程度あります。平成30年度は韓国・済州島を結ぶチャーター便も運航しました。



韓国・済州島を結ぶチャーター便
観光ツアーのチャーター便



【長崎県空港位置図】

長崎空港

長崎空港は、世界初の本格的な海上空港として昭和50年5月1日滑走路長2,500mで供用開始しました。その後、昭和55年4月1日、航空機の大型化・高速化に対応するため滑走路を3,000mに拡張しました。近年、インバウンドや格安航空会社の乗り入れもあり、平成29年の年間利用者は316万人と年々増加しています。

空港西側には、ツツジやサツキで「NAGASAKI」を表した花文字山があり、空港利用者を出迎えています。平成28年には一般家庭の約7500世帯分の電力を発電するメガソーラー発電所も稼働しました。また、毎年秋には、飛行機の機体見学など親子で楽しめる「空の日」フェスタが開催されています。



開港当初の長崎空港(昭和50年)

現在の長崎空港(平成30年9月)

(九州地方整備局長崎港湾空港整備事務所提供)



長崎空港開港式(昭和50年)

長崎空港空の日イベントでの空港化学消防車の一般開放の様子(長崎空港事務所提供)



ボーイング737-500

ボンバルディアDHC8-Q400

ボンバルディアDHC-8-201



長崎空港花文字NAGASAKI

空港のデータ(平成29年度末時点)

空港名	長崎空港	福江空港	対馬空港	壱岐空港	上五島空港	小値賀空港
供用開始	昭和50年	昭和38年	昭和50年	昭和41年	昭和56年	昭和60年
滑走路	3000m	2000m	1900m	1200m	800m	800m
旅客者数(H29年度)	国内:3,105千人 国際:54千人	141千人	246千人	33千人	—	—
就航路線	国内:9 国際:2	長崎 福岡	長崎 福岡	長崎	—	—
航空会社	JAL、 ANA、ORC他	ORC ANA	ORC ANA	ORC	—	—

長崎県の空港を知ろう

長崎県には、国管理空港である長崎空港(国土交通省所管)と大村飛行場(防衛省所管)および5つの長崎県管理空港があります。県管理空港は離島に位置する福江空港、対馬空港、壱岐空港、上五島空港、小値賀空港で、離島の空の玄関口として島民の方々や島外からの観光客の利用など、身近な空港として活用されています。



日本風景街道「ながさきサンセットロード」

第4回フォトコンテスト結果発表!!

ながさきサンセットロード推進協議会では、同ルートの知名度向上や風景の再発見を目的として、平成29年12月～平成30年5月にかけて、『記憶に残る風景』をテーマにフォトコンテストを開催しました。魅力あふれる96作品の応募があり、その中から最優秀作品1点、優秀作品4点、道の駅賞8点の受賞作品が決定しました!

掲載できなかったその他の作品も公式HPのフォトギャラリーでご覧いただけます。

最優秀賞



1 天使の散歩道

撮影者：梅川 慎一 撮影場所：長崎市相川町[あぐりの丘]

優秀賞



2

満月に沈める西海橋

撮影者：高尾 慎次
撮影場所：西海市西彼町伊ノ浦郷
(西海の丘展望台)
[西海橋]



3

棚田の夕日

撮影者：友廣 清一郎
撮影場所：松浦市福島町土谷免
[土谷棚田]



4

軍艦の向こうの落陽

撮影者：木村 泰久
撮影場所：長崎市蚊焼町
(国道499号)
[軍艦島]



5

角力灘の落日

撮影者：島村 直幸
撮影場所：長崎市下大野町
(国道202号荒川橋)
[角力灘]

「2018 まちづくり総合住宅フェア」開催!

今年から会場を県庁舎へ移し、10月27日～28日に開催しました。小学生向けお仕事体験や、県庁舎エコ探検、リノベ女子×DIY男子講座を含め、たくさんの家族連れでにぎわいました。



丸太切り競争



県庁舎エコ探検ヘリポート



県庁ガラスお絵かき

「第30回長崎県 まちづくりの絵コンクール」

- テーマ:「みんなですみたい りそうのまち」～みんなですんでみたい「りそうのまち」を自由に描いてみよう!～
- 9月7日(金)までに県内小学生を対象に募集を行いました。沢山の応募ありがとうございました。10月16日に審査会を開催し、11月から2月まで県内の各地で展示会を実施しております。※展示会の実施場所及び時期については県都市政策課のホームページをご覧ください。
- 問い合わせ先:長崎県土木部都市政策課(Tel.095-894-3033)

県内の土木・建築に関する情報を発信しています! <http://www.doboku.pref.nagasaki.jp/ichimannin/top.html>

「1万人、土木・建築体験プロジェクト」ホームページ

県内の土木・建築に関するイベント情報を発信しています。

facebookページ『よかばい!長崎の土木』



「DOVOC通信ながさき」では、読者の皆様からのご質問・ご感想をお待ちしています。

宛先◎〒850-8570 長崎県土木部建設企画課 ☎095-894-3021 FAX095-894-3461 ✉s08080@pref.nagasaki.lg.jp